



市町村合併は、住民一人ひとりの重要な問題

市町村合併めぐる諸情勢は？ 真剣に耳傾ける両議員ら

田野畑村議会（小野茂實議長、十五人）と普代村議会（熊谷聰議長、十四人）は二月八日、市町村合併をテーマに村役場大会議室で合同研修会を開きました。同研修会には、両議員と職員約五十人が出席。県地域振興部市町村課・高松秀一広域行政主査が「市町村合併をめぐる諸情勢について」と題して講演しました。

高松主査は、両村の一般財源に占める地方交付税の比率、住民の医療圏や商圏が周辺市に拡大している状況や、合併特例法などを説明。「財政状況が今後厳しくなる中、将来的に一つの村としてやっていけるのでしょうか。合併は存続の一つの方法でもあります。住民が合併について議論する環境を整えることが大切です」と強調しました。県の広域行政推進指針では、田野畑村は宮古市、田老町、岩泉町など宮古地域での広域連合、普代村は久慈市、野田村など久慈地域での合併パターンが示されました。

平成14年度から 自動車税のグリーン税制 始まります！

「自動車税のグリーン税制」とは、現在深刻化している環境汚染・地球温暖化を考え、環境負荷の小さい自動車（低公害車など・下表〔1〕）については自動車税を軽減し、逆に環境負荷の大きい自動車（ディーゼル車など・下表〔2〕）については自動車税を重く課す（高くする）制度です。

環境負荷の小さい自動車〔下表1〕⇒自動車税が軽減されます。

●対象自動車と税額〔表1〕

対象自動車	税額
低公害車（電気自動車・天然ガス自動車・メタノール車）	約50%軽減
超-低排出ガス認定車（☆☆☆）で、低燃費車	
優-低排出ガス認定車（☆☆）で、低燃費車	約25%軽減
良-低排出ガス認定車（☆）で、低燃費車	約13%軽減

※超・優・良の各低排出ガス認定車は、低排出ガス認定制度に基づく最新排出ガス規制値からの低減の割合により区分されているものです。

※低燃費車とは、改正省エネ法に基づく2010年（ガソリン車）・2005年（ディーゼル車）新燃費基準達成車のことです。

●軽課期間

- 平成13年度に新車登録した自動車
→平成14・15年度分の自動車税を軽減
- 平成14年度に新車登録した自動車
→平成15・16年度分の自動車税を軽減

環境負荷の大きい自動車〔下表2〕⇒自動車税が高くなります。

●対象自動車と税額・重課期間〔表2〕

対象自動車	税額	新車登録の時期	重課期間
ディーゼル車 （新車登録から11年超）	約10% 重課	平成3年 3月31日まで	平成14年度以降
		平成4年 3月31日まで	平成15年度以降
ガソリン車 LPG車 （新車登録から13年超）		平成元年 3月31日まで	平成14年度以降
		平成2年 3月31日まで	平成15年度以降

問い合わせ先…久慈地方振興局企画総務部 税務課（☎53-4981 内線207）へどうぞ。

変わります！ 精神保健福祉制度

「精神保健や精神障害者福祉に関する法律」の改正で下記のサービス窓口が平成14年4月1日から市町村に変わります。

市町村が窓口になる主な精神保健福祉サービス

精神障害者居宅生活支援事業の利用

- ①ホームヘルプサービス
- ②ショートステイサービス
- ③グループホーム

など、利用についてご相談ください。

※詳しくは、役場保健福祉課（☎35-2114）へお問い合わせください。